

社会保険労務士合格体験記

旭川市 竹川泰正（第41回社労士試験合格 CDコース）

1. 行政書士試験に合格し社会保険労務士試験を目指すことに

行政書士資格で社会保険労務士の受験資格がでることが分かり、この二つの資格を取れば、仕事の幅も広がるとの考えから、社会保険労務士を目指すことにしました。とはいっても、1月の行政書士試験の合格発表から社労士試験までは短期間しかなく、基本書を購入して独学で勉強することにしました。従って、最初の受験は体験する程度で終わりました。

2. スコーレとの出会い

翌年から、数校有名な資格学校の通信教育を受けましたが、この間に、少しは、力が付きましたが伸び悩んでおりました。

そこで、試験会場で解答速報をしていたスコーレの勧誘を受けてCDの通信講座を受けることとしました。最初にスコーレのテキストを見て感じたのは、文字が多くて読みづらいという印象を受けました。

3. スコーレでの勉強

勉強が進んでいくと、スコーレの分厚いテキストも読めるようになり、分野別過去問題集、一問一答及び実力テスト等をやっていくうちに、今までの学習の成果が徐々に感じられるようになりました。

3. 合格の軌跡

今年の試験では、択一式の力を温存させながら、手強い選択式をいかに克服するかにありました。選択式問題を解いていくうえで留意したのは、答えになりそうな候補の肢を2つか3つに絞り、その中から問題文に照らして相応しいと思う答えを選んでいくことでした。午後の択一は、二時間位で全部解いて、残りの時間を点検に当てました。結果は、心配していたケアレスミスもなく、選択式33点、択一式52点で合格することができました。

4. 合格後の感想

スコーレの教材は、合格点をクリア一するのに十分な内容を持っています。諦めずに、勉強を続けていけば、成果が現れます。ただ、最近の選択式試験の問題には憲法や民法等幅広い知識が問われるようになりましたので、日頃から社会情勢には関心を持つことが必要だと思われます。

以上